

【担当教員名】 村山 篤子・山本 通子・堀田 康雄 村山 伸子 他		対象学年 4	対象学科 健康
		開講時期 前・後	必修・選択 必修
		単位数 4	時間数 120
<p><概要></p> <p>ヒトの発生→加齢迄全過程を通して、健康者・幼児・高齢者・障病者・スポーツ選手等 全てに渉る健康の維持・回復・増進に必要な事項を学習し、リーダーとなる基盤を会得する。物理学・化学・生物学的実験研究、調査と数学的処理研究、調理・食品の理学・社会学的研究を中心とし、基本的手法・文献調査・研究発表と討論により能力拡充をする。</p> <p>成果の一つとして卒業論文を作成し、対人・社会コミュニケーションスキル、創造性、精神的肉体的強化を心掛ける。</p>			
<p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文献検索；資料の収集と整理ができる。 2. 研究テーマの実施・完成のためのプロトコルを作成できる。 3. 研究に関して仮説を考え、その証明方法を設定できる。 4. 必要に応じた統計的処理ができる。データの取得とその理解と評価できる。 5. 研究テーマの背景、材料、方法、結果、考察、参考資料、謝辞を所定時間内に発表し、質疑に回答できる。 6. 研究成果(上記#5)を所定の形式に則して卒業論文にまとめる。 			
回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
1 2~3 4~5 6~20 21~25 26~30	オリエンテーション 個人別オリエンテーション、資料収集、計画発表と修正・評価 卒業実験・実習・調査の決定 実験・調査の実施(学内・学外) 成果発表の準備と実施 卒業論文の作成	講義 ディスカッション 発表とディスカッション 個人・グループ学習 個人・グループ学習 個人学習(グループもあり)	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書	別途指示		
参考書	別途指示		
その他の資料	プリント・映像		
【評価方法】 研究の進め方 口述発表と卒業論文の内容	【履修上の留意点】 個人学習、実習を進め、指導者・仲間と連絡を保つ。 積極性を持ち、速やかに正しい判断を行う。		